

**令和5年度厚生労働省老人保健健康増進等事業**  
**外国人介護人材の介護福祉士取得に向けた指導者養成の在り方に関する調査研究事業**  
**指導者養成研修 要項**

## 1. 指導者養成研修及びカリキュラムの目的

---

- ・ 外国人介護人材を受け入れているが、外国人介護人材の介護福祉士国家資格取得に向けた学習支援体制等が十分でない受入施設に対して、国家試験受験までの学習支援体制や指導方法に関する助言を行うことができる指導者を育成すること。
- ・ 外国人教育者チームの「指導者」として、外国人介護人材受入施設の教育担当者等に対して、学習支援体制・指導方法等に関する助言ができる知識や技能の習得をすること。

※本事業における「外国人介護人材」とは、技能実習生、特定技能外国人のほか、EPA 介護福祉士候補者や、介護福祉士養成施設の卒業生が介護福祉士国家試験合格を目指す場合等を含む。

## 2. 主催者

---

- ・ 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

## 3. 日時・場所

---

- ・ 日時：2023年12月18日（月）10:30～16:00
- ・ 場所：京都テルサ中会議室  
<https://www.kyoto-terrsa.or.jp/parking/>

## 4. 対象者

---

- ・ 外国人介護人材受入施設において、教育担当をしている者
- ・ 介護福祉士養成施設教員
- ・ 介護福祉士会等で、介護に関する各種研修の講師経験者
- ・ 日本語の教育者       ／等

## 5. プログラム（予定）

テーマ	時間	ねらい	内容（例）
挨拶・事業の趣旨説明	10:30～ (15分)	・事業（指導者養成研修及び外国人教育者チーム派遣）の趣旨を理解する。	・事業の趣旨説明 ・研修修了後の流れ（外国人教育者チームの派遣について）
在留資格・主要な送出国に係る基礎知識	10:45～ (15分)	・在留資格、送出国に関する基礎知識を理解する。	・在留資格の特徴や必要な配慮 ・主要な送出国の文化や現地の事情
外国人介護人材が介護福祉士国家資格を取得することの意義	11:00～ (30分)	・外国人介護人材が介護福祉士国家資格を取得することの重要性やメリットを理解し、受入施設の外国人教育担当者に伝えることができる。	・外国人介護人材に介護福祉士国家資格取得を目指してもらうことの意味・効果 ・外国人介護人材が国家資格を取得することにより本人が得られるメリット、将来の可能性、及びこれらを本人に説明する時期 ・介護福祉士国家試験制度の概要（資格取得ルート、実務者研修の意義・概要、外国人への試験上の配慮、受験手続等） ・最近の試験結果の傾向 ・受入施設の成功事例（支援の体制・内容等）
介護福祉士国家資格取得までの支援 （①介護）	11:30～ (60分)	・介護の知識・技能について、必要な学習支援の内容を理解する。	・「根拠ある介護」について伝えることの重要性、伝え方 ・試験に出題される基本に則った介護をどのように理解させるか、実際の現場で行われている介護との違い ・単純な知識の想起によって解答できる問題のみならず、設問で与えられた情報を理解・解釈してその結果に基づいて解答する問題、理解している知識を応用して具体的な問題解決を求める問題等の実践的な内容の学習が必要であることの説明、日々の指導で効果的な具体例 ・活用できる教材の例、使い方（厚生労働省事業で作成した教材等）
介護福祉士国家資格取得までの支援 （②日本語）	13:30～ (60分)	・日本語能力の向上や国家試験に必要な日本語を修得するための学習方法および支援について理解する。	・介護福祉士国家試験受験のために必要な日本語 ・来日前、来日直後から介護福祉士国家試験までの学習スケジュールの例 ・活用できる教材の例、使い方（厚生労働省事業で作成した教材等）

テーマ	時間	ねらい	内容（例）
介護福祉士国家資格取得までの支援 （③学習環境整備）	14:30～ （30分）	・学習意欲を維持、向上するための関わり、支援内容について理解する。	・介護福祉士国家資格取得のために必要な学習環境整備の内容 ・その他の職員（国家資格を目指さない技能実習生や特定技能外国人、資格取得を目指す日本人職員）との関係の整理、納得を得る方法 ・受入施設の成功事例
外国人教育者チームとして他施設に助言をする際の留意点		・他施設に助言をする際の留意点を理解する。	・助言をする際の留意点、助言や知識を伝えるためのスキル
質疑応答	15:00～ （15分）	・講義を踏まえての質問を受け付け、参加者の理解を深める。	
参加者同士の意見交換	15:15～ （45分）	・参加者同士の交流を図る。	・外国人介護人材の介護福祉士国家資格取得に向けた学習支援に関するテーマに関する議論や共有
計 270 分（4 時間 30 分）			

以上